

笠間市役所 令和2年6月19日(金)

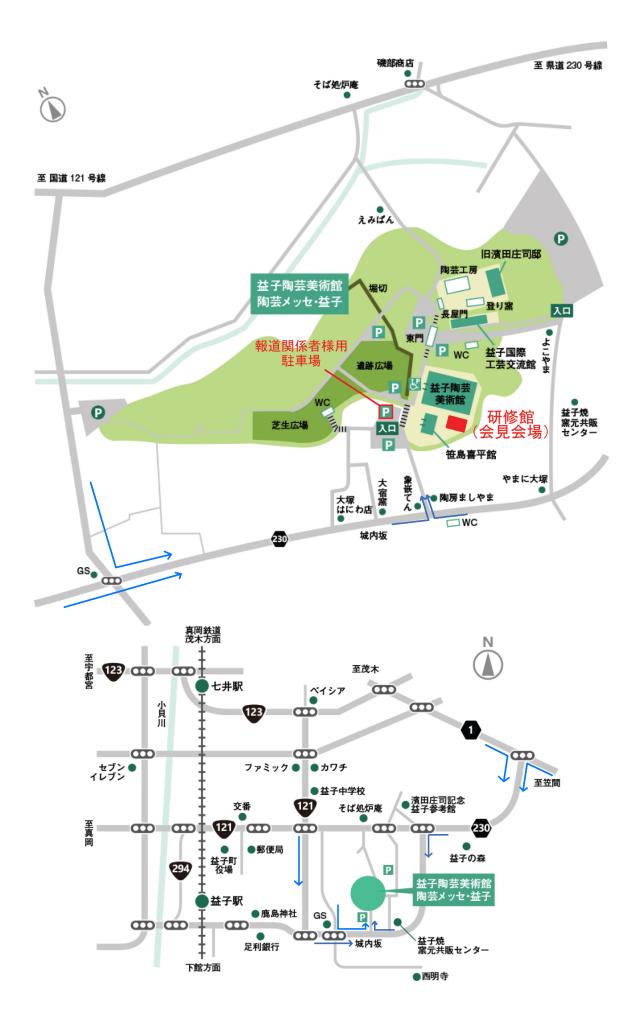
取材 · 記事掲載依頼

日本遺産認定に伴う益子町との 共同会見について

- 1. 益子町との共同会見について
 - •日 時:令和2年6月22日(月)13時30分~
 - ・場 所: 益子陶芸美術館/陶芸メッセ・益子
 - 内容:①日本遺産認定記念くす玉開披(10分程度)
 - ②笠間市・益子町共同記者会見(1時間程度)
 - ・備 考:報道関係者様用駐車場をご用意しております (別紙地図参照)。
- 2. 令和2年度「日本遺産(Japan Heritage)」の認定について ※別紙内容のとおり

別途市長コメントを送付いたします。

この件に関するお問い合わせ 笠間市役所 商工課 担当:柴田







令和2年度「日本遺産 (Japan Heritage)」の認定について

笠間市、益子町が共同で申請したストーリー

「かさましこ~兄弟産地が紡ぐ"焼き物語"~」が

令和2年度「日本遺産」の認定になりました。

今年度は、69件の申請があり、「日本遺産審査委員会」の審議を経て、21件が新たに認定になりました。今後、認定地域に対しては、認定後3年間重点的な財政支援があるなど、「日本遺産」を活用した地域活性化の取組みを進めてまいります。

<日本遺産とは>

- ・地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを認定する事業。
- ・魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することで、地域活性化を図る。
- ・2020 年度までに 100 件程度行うとされていたところ、令和 2 年度 (2020 年度) までに 104 件が認定。なお、今年度 (2020 年度) の募集をもって当面最後とされている。

<笠間市・益子町の共同申請内容>

タイトル	かさましこ~兄弟産地が紡ぐ"焼き物語"~
ストーリー	東日本屈指の窯業地「かさましこ」(茨城県笠間市と栃木県益子町)は、窯
の概要	業や統治者によって古代から同じ文化圏でした。江戸時代に入り別々の道を歩
	みますが、18世紀後半から再び、製陶を通じてつながり合った地域です。使い
	勝手のいい日用品を作り続けていたこの地は、存続の危機に陥ると時代に合わ
	せた革新に挑み、多様な作風を許容する産地へと変化しました。自由でおおら
	かな環境が創造する者を惹きつけ、今では600名を超える陶芸家が活躍してい
	ます。美意識を追求し美しい生活造形を生み出す「かさましこ」は、訪れる人
	の五感をも刺激し、暮らしに寄り添う独自の陶文化を醸成しているのです。







認定に至っ た審査委員 会の評価 益子と笠間が連携して陶芸と地域の振興を進めていこうとする意欲を感じる ことができる。民芸運動をテコに、リノベーションを図ってきた両地域の勢いを 感じる物語である。